

2017 新春市民文芸

新春にあたり、俳句・短歌・川柳を募集したところ、俳句の部では792人の方から989句（うち小・中学生751人から870句）、短歌の部では33人の方から94首、川柳の部では32人の方から93句の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

俳句の部は安楽岡寛氏、短歌の部は斎藤すみ子氏、川柳の部は西尾文化協会西尾川柳会に審査していただいた結果、次の皆さんが入選されました。おめでとうございます。

俳句

特選

大いなる沓脱石に初日影

熊味町

蓮沼 健

入選

一湾の波の一途の淑気かな	東幡豆町	岡本 達子
迎春や十二条なる笥瀧	駒場町	信川 芳枝
初旅や西蒲線の一人旅	鶴ヶ池町	富永 幸子
初鴉高鳴き神の御声かと	江原町	近藤 雅恵
縫初やまだ手放せぬ二尺差し	和気町	犬塚 房江
黄金の天目茶碗初茶の湯	幸町	吉見 ひで
見なれたる辺りも今朝は初景色	一色町	粕谷 弘子
朝まだき竹刀振る子や初稽古	住崎三丁目	青山 興子
鍬の柄を杖と頼りの農始	家武町	神取 和子
乗り合やすバスの中にて御慶かな	下羽角町	服部 芳子
年新た主婦にもあらぬころざし	つしが丘六丁目	古賀 敦子
朱の袂紗ぴんと鳴らして初点前	花蔵寺町	三浦 貞子
報恩や術後再度のお正月	吾妻町	星野 早苗
初句会笑い渦巻く披露かな	永吉町	石川 英一
新春の光り集めて歩き出す	西幡豆町	鈴木美江子
数へ日や洗車給油に列なして	上羽角町	乙部 妙子
卒寿てふ命賜わる今朝の春	米津町	沢戸 守

俳句（小・中学生）

大きくてもえているようはつひので	八ッ面小1年	大久保 旭
年がじょう思いをこめておくります	八ッ面小2年	神谷こころ
はつもうで家族のけんこうねがいます	八ッ面小3年	神谷 亜希
ふくわらいおかしい顔に大笑い	鶴城小3年	矢口 千紘
おしるこはあずきともちのハーモニ	鶴城小3年	服部 優利
初日の出もつと近くで見たい	鶴城小4年	芳賀詩緒梨
新年の朝に聞こえる鳥の声	八ッ面小4年	大西真秀呂
初詣家族みんなで願い事	八ッ面小4年	池端 紗希
宝船ぼくの幸せ乗せて行け	八ッ面小5年	宮本 煌士
年明けて心新たに第一歩	米津小5年	米津 祐汰
霊峰を朱色に染めし初日の出	米津小5年	伊澤 智希
初夢や一富士二鷹三なすび	八ッ面小6年	坂上 諒
楽しみだみんなでもかえるお正月	八ッ面小6年	梅谷 拓実
あの枯れ木夏はきれいなけやきの木	鶴城小6年	柴田 紗帆
初日の出真つ赤に染まる三河湾	一色中1年	下村 啓師
年明けて新たな希望を胸に抱く	東部中1年	伊藤 駿
初日の出平和な一年祈ってる	一色中1年	藤田 真唯
初日の出私を照らす希望の陽	東部中2年	森下 璃穂
初日の出願いを込めて鳴らす鐘	東部中2年	川島 一真
初詣神のささやき聞こえそう	東部中3年	杉山 太希
初詣社に向けて人の波	東部中3年	相澤 晃一

短歌

特選

初春の明るき光に裸木は命ますぐに空に対峙す

吉良町 小山 芳子

入選

朝光の枝に瑞々と膨らみて饒舌となる梅の蕾は
透明のエレベーターは初日浴びビルの谷間を競わず昇る
春来れば鍬の万能も柄の緩み君に頼りて楔打ち込む
大茶臼小茶臼山は東に初日輝くわが町西尾
遠山の秀より次第に大空を茜に染むる初日まばゆし
年賀にきて嵐のごとく去りし子等炬達の二人無言なるまま
病院の夫のベッドに仮寝せりほんの少しの癒し求めて
初春に集ひて酌むは吟醸酒一升瓶の〈大信州〉なり
笛太鼓に合せて舞える獅子舞は大口あけて祝儀のみ込む
棟梁の指揮にレッカー自在なり組まるる棟木天に聳ゆる
初詣にはぐれそうなる吾が肩を引き寄せコートに包めり夫は
まびきせずすなりの実のできそこないは鏡餅の上にすわりほほえむ
重い物を持ちあげますよと腰に言ひ一呼吸しておもむろに待つ
フェンス這う風船蔓の種こぼれぬくに二葉出でて伸びおり
被災地の航空写真に映し出すブルーシートの屋根痛々し
垂乳根の母の運勢いかかと初暦手にまづ確かめぬ
初まいりに求めしお守り外つ国の子への初荷にそつと忍ばす

鳥羽町 谷口壽々榮
下羽角町 石川 保一
野々宮町 川上 信子
花蔵寺町 三浦 貞子
米津町 村上チオリ
吉良町 近藤恵美子
和気町 犬塚 房江
天王町 高松 満子
一色町 粕谷 弘子
楠村町 小嶋日出世
上羽角町 乙部 妙子
西幡豆町 原田由美子
深池町 柘植 美苗
米津町 沢戸美代子
上羽角町 金子あきゑ
鵜ヶ池町 富永 幸子
須田町 野崎 祐子

川柳

特選

老夫婦つかず離れず初写真

米野町 長谷きよ子

入選

下手なれど米寿の手書年賀状
目出度さや犬の小屋にも注連飾り
着付け終え娘以上に母嬉し
年玉をあげる子供が増える幸
血糖値今日は忘れよ節料理
新札の香りも入れてお年玉
気がねなく朝から吞める三が日
よく嚼んでかんで感謝の節料理
初春の家族の笑顔宝物
孫よりも爺はりきりて独楽回し
人生の無事を祈りて手を合す
卒寿とてまだ欲のあり四方の春
豪放や尺で計れぬ人も好き
老犬のワンとひと声初電話
親と子の癖まで同じ初諷経
わが首へ他人の賽落つ初詣
初鏡シワシミ目立ち厚化粧

幸町 吉見 ひで
家武町 中根佐代子
永吉町 尾崎 法子
巨海町 岩瀬 勇
鵜ヶ池町 富永 幸子
米津町 沢戸美代子
丁田町 川口 實
家武町 神取 和子
吉良町 尾崎サカエ
寺津町 内田 京子
桜町 太田 由美
下羽角町 濱嶋 君江
和気町 犬塚 房江
一色町 粕谷 弘子
駒場町 信川 芳枝
下永良町 榊原さちよ
丁田町 川口 禮子